

(仮称) 鎌倉地域の漁港にかかるワークショップ

これまでのワークショップで出された6つの論点

(1) WS の設定の仕方について

- 組織編成(人選/世代/性別)、参加者の情報などの開示
- 回数・検討期間などの是非
- 議論方法、議論内容の整理方法
- 議事録などの公開とその方法
- 市側の出席者はこのままで妥当か

(2) WS での議論の前提に関する整理について

- WS を含む、漁港建設をめぐる今後の意思決定プロセスを確認したい
- WS での議論のまとめかたイメージについて明示してもらいたい

(3) 行政が保有する事前情報の提示について

- 漁港建設の構想があることはどのように周知されてきたか
- 漁港建設をめぐるこれまでの検討プロセスの再確認(漁対協/マスタープラン他)
- 漁対協の提示案の位置付けについて
- 委員会採択されたという陳情に関する情報について
- 市政(防災, 観光ほか)における漁港建設の位置づけ/とくに財政的位置づけ

(4) 漁業の現場からみた漁港建設の必要性について

- 漁業の現状継続の問題点について
- 問題点の克服方法の選択肢の検討
- 漁港建設の要望は漁業者の総意か

(5) 漁港建設のデメリットの有無について明確化し、検討してもらいたい

- 環境への影響(アセスメントは実施したのか、するのか)
- 沿岸の市民生活への影響(眺望への影響・臭気の問題など)
- 海岸利用への影響
- 海岸景観への影響

(6) 漁港建設が鎌倉市民、沿岸域住民にもたらしうるメリットについて